

東京国際空港（羽田空港）D滑走路建設工事 ～ 埋立部護岸のケーソン据付完了 ～

トピックス

平成22年秋の供用を目指し、24時間365日の昼夜連続施工で猛進している羽田空港の4本目となる新しい滑走路（D滑走路：長さ2,500m）の建設工事においては、埋立部外周護岸の一部に「ケーソン」と呼ばれる中空箱形のコンクリート製大型ブロックを用いた「ケーソン式混成堤構造」^{（注1）}を採用している。

今般、平成21年6月18日（木）、ケーソン式混成堤構造部の平成21年度分の施工となるケーソン6函の最終函（寸法：幅16.0m、長さ20.0m、高さ12.5m、重量：約2,100t）の据付が無事完了し、ケーソン護岸部の開口部：約120m^{（注2）}が締め切られた。

これにより、昨年度（平成20年7月）に据え付けられたケーソン10函^{（注3）}と併せ、計16函の据付が無事完了した。今後は、いよいよ埋立部の揚土施工が本格化する。

（注1）水深 A.P. -8m※1 の捨石マウンド上に、高さ 12.5m のケーソン（中空箱形のコンクリート製大型ブロック、重量約 2,100 トン）を設置して護岸構造とする方式。D 滑走路埋立部では、護岸延長約 4,500m のうち、約 320m の区間をケーソン式混成堤構造、残り約 4,180m の区間を緩傾斜の捨石マウンドと上部ブロックからなる緩傾斜護岸構造を採用している。

※1 A.P.：海面からの高さを表す基準面の記号の1つであり、荒川工事基準面（Arakawa Peil）の略で、東京湾平均海面（T.P.）-1.134m が 0 位となっています。

（注2）作業用船舶の通航のために設けられた幅約 120m（ケーソン 6 函分）の開口部。開口部以外のケーソンは昨年度（平成 20 年度）に据付済み。

（注3）ケーソン据付箇所は、D 滑走路進入灯橋梁の取付部護岸（延長約 100m）に全 5 函のケーソン（寸法：幅 11.5m、長さ 20.0m、高さ 11.1m、重量：約 1,500t）、物資搬出入のためのケーソン護岸部（延長約 220m）に全 11 函のケーソン（寸法：幅 16.0m、長さ 20.0m、高さ 12.5m、重量：約 2,100t）、総計 16 函のケーソンを据え付ける計画。このうち、物資搬出入のためのケーソン護岸部（作業用開口部）の 6 函を今回据え付けた。

平成 21 年 6 月 22 日（月）

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

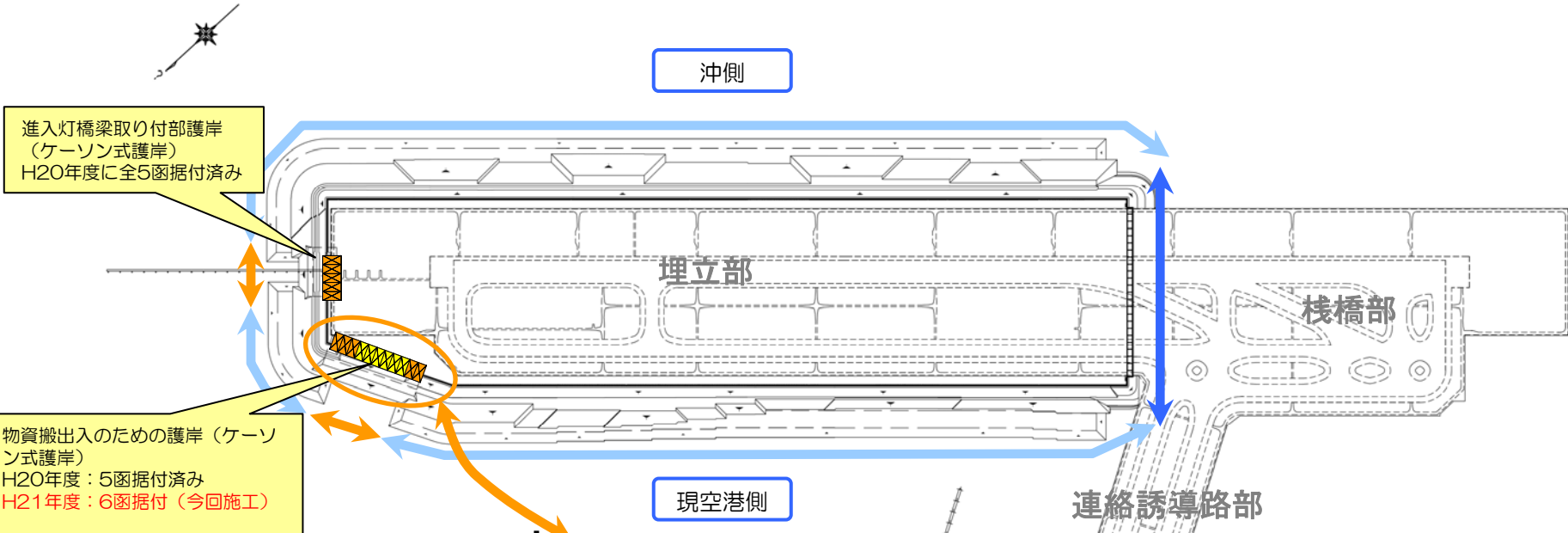
D 滑走路プロジェクト推進室 小林・原田・貴船・満山

住所： 東京都大田区羽田空港 3-5-7 メンテナンスセンターアネックス 5F

電話： 03-5756-6577

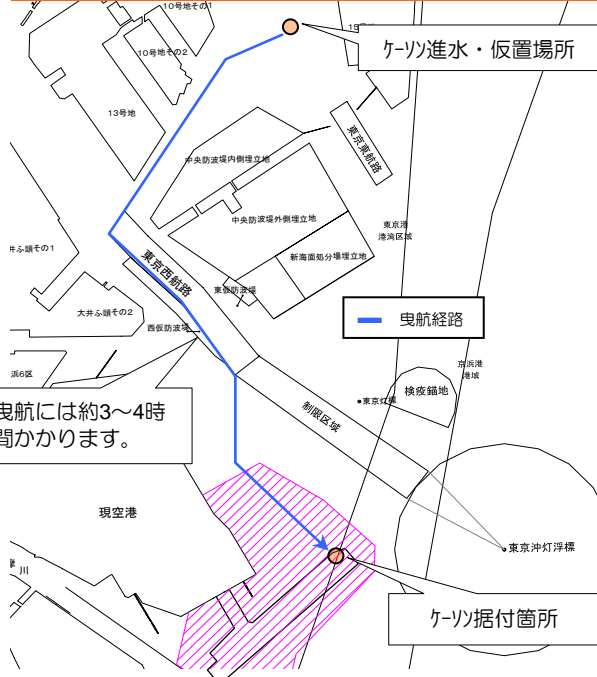
HP： <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

ケーソン式護岸概要

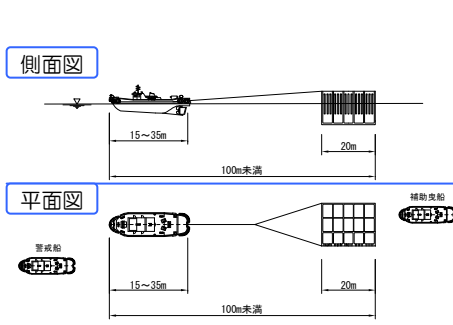


- ケーソン式護岸
- ケーソン据付箇所 (H21年度据付)
- ケーソン据付箇所 (H20年度据付)
- 傾斜堤護岸
- 接続部護岸

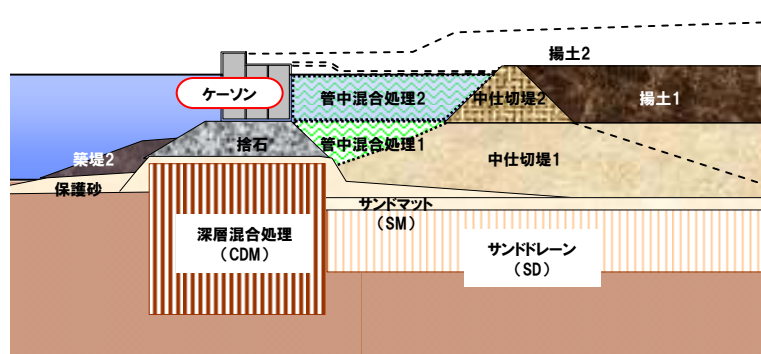
ケーソン曳航経路図及び据付箇所



ケーソン曳航状況図



物資搬出入のための護岸部 (ケーソン式護岸) 標準断面図



ケーソン 製作から据付まで

ケーソン式護岸概成



H21.6.18撮影

製作状況



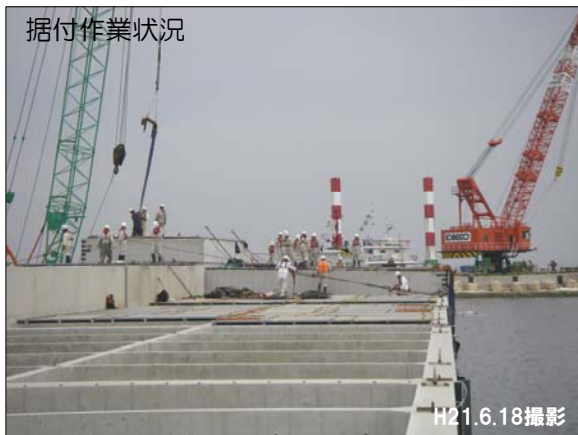
H21.4.22撮影

製作状況



H21.5.14撮影

据付作業状況



H21.6.18撮影

曳航状況



H21.6.8撮影

進水状況



H21.6.15撮影